

第2回新潟市北区外国籍市民懇談会 概要

日 時：平成26年2月2日（日） 午後6時30分～午後8時30分

場 所：北区文化会館 会議室

出席委員：8名

【コーディネーター】長谷川 実

【公募委員】アドゥアヨム アヘゴ アクエテビ、窪田 ベアトリスカズコ、田辺 愛子、
ダラコティ アンジャイ、樋渡 里佳、フリオ セサル ガルシア ウリベ、
マリア テレシタ ハセラ ノガワ

事務局：夏目国際課長、宮島係長、畑副主査、小田主事

オブザーバー：新潟市国際交流協会 神戸事務局長

傍聴者：4名

意見の概要

1) 外国籍区民の仕事と生活について

事務局より 第1回懇談会で出された課題と、現状と対応を別紙資料に基づいて説明。

- ・日本での就職は難しい。ハローワークの支援はほぼ皆無だった。2回通ったが英語での対応はなく、その職員も外国人への対応に戸惑っているようだった。
- ・ハローワークの「新潟外国人雇用サービスコーナー」について知らなかった。困っている人がいたら教えてあげたい。
- ・日本でホテルの正社員として就職した。しかし日本語での接客機会が多くて仕事が難しく、退職した。日本で働くなら日本語が上手にならないといけない。
- ・新潟市内で、医療福祉分野で技師として働いている外国人は何人いるか。
→ 具体的な人数は分からないが、新潟市国際交流協会に登録しておいてもらえば、求人があった際にお知らせすることはできる。日本の国家資格を取得した上で、日本語を生かして勤務できることが条件になると思われる。
- ・仕事のインターン制度があれば参加したい。
- ・新潟市内の地図を買おうと思ったが、日本語でしか表記されていないので困った。
→ 後日、市で作成した英語版の市内地図を送付。
- ・病院に、自動音声翻訳装置やタッチパネルで症状を説明できるような装置があると良い。
- ・掛かり付けの病院では、先生が易しい日本語を使ってくれる。自分の子どもが通訳してくれる。
- ・税金・保険などの制度が難しい。
→ 新潟市国際交流協会の相談窓口や、外国人のための弁護士無料相談会などを利用してほしい。
- ・自分の国で取得した運転免許証を日本の免許証に書き換えたいが、日本語に自信がない。
→ 自国の運転免許があれば、さまざまな言語で筆記試験を受けることができる。

2) 地域コミュニティと外国籍区民との関わりについて

事務局より 第1回懇談会で出された課題と、現状と対応を別紙資料に基づいて説明。

- ・市内の交流団体のイベントや民謡流しに参加したことがある。楽しかった。
- ・来日したばかりで困っている外国人をサポートしたい。
→ 他の区でも同様の要望が出ている。将来的に何らかのしくみを作ることを考えたい。その際は委員の皆様からもご協力を。当面は新潟県国際交流協会のボランティア制度を紹介。

- 出された課題がすべて解決された訳ではないが、今後も調査と取り組みを継続することとし、北区外国籍市民懇談会は今回で終了となった。